

令和6年度 学校自己評価（教職員・保護者）結果

北九州市立八幡西特別支援学校

学校教育目標

児童生徒の健康面・安全面への配慮を教育活動の基盤とする

病気や障害のある児童生徒にその特性と能力に応じた教育を実施し、可能な限り社会参加・自立を目指し、生涯にわたって生きがいをもって生活できるよう、個性を伸ばし、生きる力の育成を図る。

～子どもの「笑顔でチャレンジ」をみんなで創り出す～

教職員アンケート

※昨年度を上回った評価を黄色で示しています。

	内 容	A、Bの割合		
		R4	R5	R6
1	子どもたちは楽しく学び、笑顔でチャレンジすることができている。			98
2	キャリア教育の視点に立った進路指導の観点から、小・中・高等部の一貫した指導を進められた。	73	68	78
3	子ども一人一人に応じた学習指導ができている。	95	81	89
4	子ども一人一人の健康・安全に十分配慮した教育活動を実施している。	96	92	98
5	個別の教育支援計画や個別の移行支援計画を保護者や関係機関と連携して作成し、活用している。	91	90	89
6	地域との交流及び連携を進めることができている。	66	80	81
7	施設設備の安全点検を定期的に行い、衛生面・安全面に十分配慮することができている。	95	97	100
8	授業公開や学校開放、交流教育、学校ホームページ等で開かれた学校づくりに取り組んでいる。	81	78	87
9	連絡帳、学部・学年通信等で、保護者に学校の情報を提供している。	100	96	99

保護者アンケート

※昨年度を上回った評価を黄色で示しています。

	内 容	A、Bの割合		
		R4	R5	R6
1	子どもは、学校に楽しく通っている。			95
2	子どもは、あいさつや意思表示等（将来を見据えたキャリア教育や進路指導）に取り組んでいる。	92	89	90
3	学校は、一人一人に応じた学習指導をしている。	97	100	100
4	学校は、子ども一人一人の健康・安全に配慮した教育活動をしている。	90	96	99
5	学校は、家庭や地域、関係機関と連携して教育活動をしている。	92	96	97
6	学校は、授業公開や通信、ホームページ等で開かれた学校づくりをしている。	87	96	95
7	学校は、衛生面・安全面に十分配慮している。	90	94	97
8	保護者は、学部・学年通信や連絡帳などから、学校の様子を知ることができている。	95	100	100
9	保護者は、対話や連絡帳等で学校と情報交換をしている。	92	96	100

今年度の学校評価アンケートに回答ありがとうございました。

教職員、保護者評価において、ほとんどの項目で前年度を上回るA評価とB評価を得ることができました。学校・保護者・関係機関等が連携して取り組んできた成果と考えます。

特に、前年度に評価の低かった「キャリア教育・進路指導」の項目に改善が見られました。全学部で、あいさつなどの自己表現力や主体的に取り組む力を育てる取組を実践してきました。次年度もこの取組を継続し、指導・支援の充実に努めてまいります。

最初の項目で95%以上の子どもたちが笑顔で学校生活を送れていることがわかりました。次年度は全員が毎日笑顔で登校できるように、職員全員で情報を共有して課題解決に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

